

地域生活支援ネットワーク部会

県民児協では、今回、全国一斉活動「民生委員児童委員発 災害時、一人も見逃さない運動」との兼ね合いや、中城村や那覇市で災害が発生したことから、「地域生活支援ネットワーク部会」を立ち上げました。

本部会は、民生委員児童委員が一人暮らし高齢者や障害のある方などに対して、日頃の訪問活動や見守りネットワークを活かし、いざという時に備えるための取り組みを全

沖縄県民児協 新規に委員会・部会を立ち上げ

総合企画委員会

平成18年7月25日、総合福祉センターにて「第1回県民児協総合企画委員会」を開催しました。

今年設置された本委員会は、民生委員児童委員および民児協活動の支援体制の調査研究「人づくり」を中心とした研修体系の見直しについての協議および全県的な展開を設置目的としています。

児童虐待と不登校の現状

家庭内における子育てで不安や子ども虐待の増加が深刻な社会問題となっています。平成16年度沖縄県の児童相談所における児童虐待処理件数は、358件となっています。内訳は身体的虐待が全体の41.9%の150件と最多。次いで、養育放棄（ネグレクト）が114件、心理的虐待68件、性的虐待26件となっています。

また、不登校児童数は小学校197人、中学校694人と報告されています。

児童委員活動第二次強化推進運動取り組み状況

県民児協児童福祉部会では全県児連の策定した「全国児童委員活動強化推進方策 第二次アクションプラン」の推進に向け、前回の強化推進運動をさらに発展させた「沖縄県児童福祉問題ゼロ作戦」を全県下で展開しています。

協誌
県民児協
情報
第15号

「暮らしに福をもたらす人」

沖縄県民協
児童委員協議会

事務所
沖縄県総合福祉センター
連絡先
TEL.(098)882-5813
FAX.(098)882-5814

児童委員活動状況 報告シートIIの結果から

今回の調査において報告シートIIの「各単位民児協における児童委員活動の取り組み状況」は次のとおりとなっています。



▲子育てサロン活動

「子育てサロン」は26箇所（7.9%）、「土日、放課後の子どもたちの居場所・つどいの場づくり」が22箇所（6.7%）、「世代間交流」が43箇所（13.1%）、「地域でのパトロール活動」が58箇所（17.7%）といった取り組み状況となっています。

さまざまな取り組み内容

各地域で特色ある取り組みが行われています。

「子育てサロン」では、行政や社協のモデル事業や民児協独自で開催するなど、地域の実情に応じてさまざまな実施主体が取り組んでいます。

「土日、放課後の子どもたちの居場所・つどいの場づくり」では、野草・薬草摘みを企画して、摘み取った野草で昼食会を実施したり、自治会と協力して琉球舞踊や三線教室を開催するなど、郷土文化を通じたユニークな取り組みも行われています。

「世代間交流」では、地域のミニ・デイサービスや子ども会と一緒に企画・実施し、利用者と子どもが交流する機会を設けています。

「地域でのパトロール活動」では、警察や地域住民と協力して学校の登下校時のパトロールや朝のあいさつ運動など児童の安全を守る活動が広がっています。

その他にも、本運動をとおして地域の特性に応じたさまざまな活動を積極的に取り組まれている状況をうかがい知ることができました。

事務所移転のお知らせ

7月1日より、沖縄県民児協の事務所が移転となり、現在は沖縄県社協と県里親会の中に事務所を設けております。（沖縄県総合福祉センター 西棟4階 408）

移転に伴い、事務所後方に小会議室（10名程度）もあり、会議や部会等にご活用いただきたいと思います。お気軽にお立ち寄りください。



▲定例の正副会長会議のようす